

事 務 連 絡
令和 7 年 3 月 27 日

各 $\left(\begin{array}{c} \text{都 道 府 県} \\ \text{保 健 所 設 置 市} \\ \text{特 別 区} \end{array} \right)$ 衛生主管部（局） 御中

厚生労働省健康・生活衛生局食品監視安全課

有毒植物の誤食による食中毒防止の徹底について

例年、特に春先から初夏にかけて、有毒植物の誤食による食中毒が多く発生しています。令和 6 年もイヌサフラン、バイケイソウ、スイセン等の有毒植物の誤食による食中毒事例（事件数 14 件、患者数 24 名、死者数 2 名）が報告されています。

つきましては、各都道府県等におかれては、厚生労働省で作成したリーフレットや自然毒のリスクプロファイルを活用するなどにより、食用と確実に判断できない植物については、絶対に「採らない」、「食べない」、「売らない」、「人にあげない」よう注意喚起をお願いします。

注意喚起を行う際には、例年、患者の多くを高齢者が占めていることに鑑み、地域広報誌等の高齢者の目にもとりやすい各種メディアの活用や高齢者施設等の関係団体を通じ、継続的に行っていただくようお願いします。また、過去には有毒植物が野菜又は野菜の苗として販売されていた事例や観賞用植物を誤食したことによる食中毒事例も報告されていることから、必要に応じ、野菜、花き及びこれらの種苗の販売者等を所管する農林部局等関係部局とも連携し、事業者に対する監視指導や消費者への注意喚起を行うようお願いします。

（参考 1）厚生労働省ホームページ

- 有毒植物による食中毒に注意しましょう
(http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/shokuhin/yudoku/index.html)
- 自然毒のリスクプロファイル
(http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/shokuhin/syokuchu/poison/index.html)

(参考2) 令和6年の有毒植物における食中毒事件の例

【事例1】

発生年月日	令和6年4月8日
発生場所	前橋市 家庭
原因植物	スイセン（推定）
概要	自宅の庭から採取したスイセンをニラと誤って調理して喫食し、食中毒症状を呈した。
患者	2名（80代男性1名、80代女性1名）
主な症状	嘔吐、吐気

【事例2】

発生年月日	令和6年4月11日
発生場所	山形県 家庭
原因植物	バイケイソウ
概要	家族がバイケイソウをウルイ（オオバギボウシ）と誤って採取し、油いためにして味見したところ、食中毒症状を呈した。
患者	1名（70代女性）
主な症状	舌と口の周りのしびれ

【事例3】

発生年月日	令和6年4月23日（推定）
発生場所	札幌市 家庭
原因植物	イヌサフラン（推定）
概要	イヌサフランを誤食したと考えられる2名が自宅で死亡した。味噌汁の残品からコルヒチンが検出された。
患者	2名
主な症状	不明

【事例4】

発生年月日	令和6年12月14日
発生場所	高知市 家庭
原因植物	グロリオサの球根
概要	自宅の庭で観賞用として育てていたグロリオサの球根を、自生していた山芋と誤って調理して喫食し、食中毒症状を呈した。
患者	2名（80代男性1名、80代女性1名）
主な症状	下痢、腹痛、吐き気、倦怠感等